

今年度も宮古恵風支援学校では、地域における特別支援教育のセンター校として、生活や学習の困り感、友達との関係など発達に関わる困り感のある児童生徒の相談・支援活動を行っております。

昨年度、本校支援部に寄せられた相談・支援内容と相談件数について紹介いたします。今後も支援内容の充実を図るために研修に努めて参ります。地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年度宮古圏域支援業務・教育相談実施件数より

1 相談件数（4月～3月）

幼保	小学校	中学校	高等学校	その他	計
52	82	7	1	111	253

2 相談内容内訳

就学相談	2
養育相談	0
発達相談	240
個別指導	0
学校見学	5
その他	6

3 相談形態

訪問	243
来校	9
電話	1
その他	0

4 他の支援業務

幼児教室（※1）	18
就学指導委員会（※2）	3
継続型訪問支援	12
関係諸機関（※3）	10
研究会研修会講師（※4）	1

※1 すこやか幼児教室（7）、ひよこ幼児教室（7）、わくわく教室（4）

※2 就学指導（支援）委員会・・・宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村

※3 関係諸機関・・・自立支援協議会発達支援部会、市町村発達支援関係者ミーティング

※4 研究会研修会・・・宮古北高等学校

5 継続型訪問支援 対応8校（特別支援学級13学級対応） 年間3回の訪問

・宮古市立千徳小学校 ・宮古市立藤原小学校 ・宮古市立津軽石中学校 ・宮古市立第二中学校
 ・山田町立山田北小学校 ・山田町立大浦小学校 ・岩泉町立小本小学校 ・田野畑村立田野畑小学校

6 主な相談内容

- ・学習に遅れのある児童生徒の実態把握 ・不登校や場面緘黙等の理解と対応
- ・発達障がいと思われる児童、生徒（自閉的な傾向、読み書きの困難さ、多動、衝動性、集団参加が難しい等）への支援や指導の手立て ・アセスメントとしての心理検査、解釈、報告、今後の指導体制について等
- ・就学にかかわる相談 ・職員向け研修会 ・精神保健福祉制度に関わる相談
- ・保護者、家庭を含めた支援について ・Q-Uの解釈を基にした学級経営 等

※全体的な相談件数は前年度より減少傾向にあります。幼少期において早期に各市町村でチームを組んで巡回が行われたり、相談会が行われるようになったことが一因と考えられます。それぞれの機関と連携して、早期からの相談支援が充実してきていることは、良い傾向と感じます。